

■ 日時

3月20日(月)から3月27日(月)まで配信

※120分程度を予定

※期間内24時間繰り返し視聴可能

■ 研修会内容

前置き：北海道および札幌市における「ひきこもりサポーター」について

前半：シンポジウム～居場所での取り組みについて～

札幌市から「居場所よりどころ」

幕別町から「ひろばHIDAMARINO」

石狩市から「ジェルメ・まるしえ」

岡山県総社市から

「ひきこもり支援センター ワンタッチ」

後半：鼎談「ひきこもりサポーター」を居場所で活用するとしたら？

公益財団法人北海道精神保健推進協会
(こころのリカバリー総合支援センター)
北海道ひきこもり成年相談センター
札幌市ひきこもり地域支援センター
TEL：011-861-6353
担当：中川・安保・樋口・田中

■ 申込方法

必要事項(1.氏名、2.居住地[市区町村まで]、3.所属等)を記載しメールかQRコードでお申込下さい。内容を確認後、配信前日までに視聴方法等をお送りします。



E-mail : kensyu@kokoro-recovery.org

(上記アドレスを受信できる設定にしてください)

■ ひきこもりサポーターについて

「ひきこもりサポーター養成研修事業」とは、ひきこもり本人や家族等に対するボランティア支援(ひきこもり経験者や家族等によるピアサポート活動を含む)に関心のある方を対象に、ひきこもりに関する基本的な知識を習得する研修です。修了者の中でサポーター活動に同意した方を名簿登録し「派遣」の際に活用することになっています。この事により地域に潜在する、ひきこもりを早期に発見し適切な支援機関につなぐことで、ひきこもりからの脱却や短期化を目指しています。(厚生労働省 ひきこもり対策推進事業より)

以上を踏まえた上で、北海道および札幌市における現状として、「ひきこもり」に関する普及啓発がまだ足りないものと考えています。そこで、『ひきこもりに関する理解が深まる』ことを目的として、当研修会を近年行ってまいりました。当センターの考えるサポーターの役割は『とりあえず話を聞く』『入り込み過ぎない(情報提供)』『隣人や友人としての付き合い』『普及啓発を担う(周囲に正しい知識を伝える)』などです。つまり、ひきこもりサポーターは、現時点では訪問活動をする役割と考えておらず、あくまでも「ボランティア」としての関わりということになります。時代状況の変化を見ながら、今後の具体的な活動に向け少しずつ準備を進めています。